

～「あいさつ・声かけ」運動を推進しています～

「あいさつ・声かけ運動」とは・・・

日常的な「あいさつ」や「声かけ」を子どもと大人も含めてみんなでやる運動の事をいい、市民運動として定着していくように進めていきます。この「あいさつ・声かけ運動」を進めていくことにより、人間関係が豊かな、明るく安全で住み良い地域社会づくりを目指します。

「あいさつ」のいいこと・・・

- ・あいさつをする、また、されると、気持ちが良くなります。
- ・あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。
- ・あいさつにより、地域にお住まいの方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住み良い地域づくりが進んでいくことが期待されます。
- ・あいさつが交わされることにより、犯罪の起こりにくい地域づくりに繋がります。



～「あいさつ・声かけ」の実践に向けて～

気持ちの良いあいさつは、活気ある職場や地域の連帯感づくりにとても大切なものです。青少年育成北杜市民会議では、地域社会の結びつきを深め、青少年がのびのびと育つ、安全で安心な住み良い社会を築くためにも、大人も子どももお互いに声をかける「あいさつ・声かけ運動」を推進します。

- ・地域での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、こんにちは、こんばんは・・・）
- ・家庭での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、いただきます、ただいま・・・）
- ・大人から子どもへのあいさつの推進（まず大人から元気なあいさつを！！）
- ・「あいさつ・声かけ」への意識啓発事業（リーダー養成など・・・）

コロナ禍にあるからこそ、地域の大人が地域の青少年を見守ることが大切です！

令和3～4年度「あいさつ・声かけ運動」標語
あいさつは 誰でも贈れる プレゼント
 青少年育成北杜市民会議



～『令和4年度の「あいさつ・声かけ運動」標語の募集』について～

あいさつや声かけは、家庭・学校・地域において、人と人とのふれあいや絆を深めています。青少年育成北杜市民会議では、令和5年度～6年度の「あいさつ・声かけ運動」標語を作成し、より一層の普及、推進を図ることを計画しています。

北杜市立小・中学校、高等学校に在学している児童・生徒、北杜市に通学・勤務している方及び北杜市民の方を対象に募集を行う予定です。皆様からの多くのご応募をお待ちしております。

～ 事業へのお問い合わせ、青少年の悩み事・相談等がございましたらこちらへ～

青少年育成北杜市民会議	生涯学習課	42-1373
青少年育成明野・須玉地区民会議	須玉公民館	42-1434
青少年育成高根・大泉地区民会議	高根公民館	46-1013
青少年育成長坂・小淵沢地区民会議	小淵沢公民館	42-1495
青少年育成白州・武川地区民会議	武川公民館	20-3019

発行 青少年育成北杜市民会議
 (北杜市教育委員会生涯学習課)
 TEL 0551-42-1373
 FAX 0551-42-1124

令和3年度（後期）

青少年育成北杜市民会議だより

～地域の子どもは地域で守り育てる～

回覧

《青少年育成北杜市民会議について》

青少年育成北杜市民会議は、市内の8地域の青少年育成地区民会議と青少年団体が結集した団体で、青少年の健全育成のための様々な活動を行っている団体です。

令和3年度前半に行った、それぞれの青少年団体の活動の一部をご紹介します！

～ 第17回 青少年育成北杜市民大会 ～



令和3年11月27日(土)に長坂コミュニティ・ステーションを会場に「第17回青少年育成北杜市民大会」が開催されました。今年も、北杜市教育委員会のふれあい塾と共同開催し、基調講演では、キッズマネーステーション認定講師でファイナンシャルプランナーの高木典子氏による「キャッシュレス時代における家庭の金融教育」と題して講演を頂きました。意見発表では、第43回少年の主張全国大会で文部科学大臣賞に輝いた甲陵中学校3年 平澤朋佳さんや第43回山梨県大会で優秀となった甲陵中学校3年 齋藤はるひさん、高根中学校3年 野澤紬季さん、武川中学校2年 深澤美羽さんの力強い意見を聞くことが出来ました。最後には、大会宣言の朗読が行われ、第17回大会は閉会しました。

第17回青少年育成北杜市民大会 大会宣言

北杜の未来を担う青少年が、ふるさとに誇りを持ち、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち市民すべての願いです。

まだまだ続くコロナ禍のなかでも、多くの青少年は、夢や希望の実現に向け努力しながら、日々たくましく成長しています。一方で、情報化が急速に進み、利便性が向上する一方で、インターネットやSNS(ソーシャルネットワークサービス)等の利用による犯罪・被害の増加など、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、問題は複雑化、深刻化し、大きな課題となっています。

青少年を健全に育成し、非行を防止するために、家庭、学校、地域の人々が一体となって、夢や希望を育み安心して暮らすことができる地域づくりに、より一層力を入れて取り組むことが重要です。

「地域の子どもは地域で守り育てる」の意識のもと、相互に協力・連携しながら、子ども一人ひとりの顔が見えるような地域の実現を目指していくことを、ここに宣言します。

令和3年11月27日

楽つみ木広場ワークショップ2021inほくと

今年で2回目を迎えた「楽つみ木広場ワークショップ2021inほくと」が12月4日(土)に明野総合会館を会場に市内小学生を中心とした親子72名の方の参加で開催されました。

講師に、木楽舎つみ木研究所の荻野氏を迎え、国産ヒノキでできた、正方形・長方形・台形の3種類の楽(らく)つみ木2万個を使いたくさんの作品が出来上がりました。当日は、市内の子育てサークルちょこっと♪チームつみ木ママ・パパの皆さんに協力して頂きながら、木のぬくもりを感じ五感をフル活用して、たくさんの人と交流しながら、つみ木を通して創造力や挑戦する心を育むことが出来ました。

今年も新型コロナウイルス感染症の対策を十分に取っながら人数制限やソーシャルディスタンスを確保するなど工夫をしながらでしたが、参加した子どもたちは思い思いの作品を“建築”し、子どもたちの情緒的、知的発達の間になったのではないかと感じています。

今後も様々な体験事業を通して、子どもたちの健全育成を推進していきたいと考えています。ときには地域の皆様のお力をお借りすることがあるかと思いますが、その際はぜひ協力をお願いしたいと思います。



【「家庭の日」作文集第47号発刊】（青少年育成明野地区民会議）

明野小学校から173作品、中学校は43作品の作文が寄せられ、明野町伝統の「家庭の日」の作文集第47号を発刊することができました。

明野町の子どもたちが「家庭の日」の作文を書くことで、家庭を見つめ、地域を見つめ、北杜市を見つめて心身ともに健やかに成長し、北杜市に誇りを持ち続けてもらう機会になればと思い作文を募集しました。家族と経験したことが書かれた作文が多く見受けられ、子どもたちが家庭生活で家族を見続け、これから生きて行くうえでのヒントを見つけたことに驚きました。子どもたちが内面的に成長してゆく過程がわかり、家庭から、学校、地域、社会のことを勉強して成長してゆくことの大切さを改めて実感いたしました。



【子どもが安心して過ごせる街づくり事業】（青少年育成須玉地区民会議）

須玉地区民会議では、子どもたちの安全を確保するため、地域の人たちが通学路の安全確保と防犯意識を持ち、「地域の子どもは地域で守り育てる」気運を高めることにより、活力ある街づくりを向上するための事業を実施しています。

今年度は、通学路点検として、安全標識の点検・補修、横断旗の点検・補修、横断旗投入箱の補修設置、とびだしボーイの設置、「子ども110番の家」の旗と支柱の補充、設置などを行いました。

これからもパトロールボランティアの皆様と見守り活動、及び「子ども110番の家」通学路標識、横断旗の整備などの通学路安全確保の活動を継続し、地域の防犯意識の向上と犯罪の抑止効果を推進して行きます。



【親子お団子作教室】（青少年育成高根・大泉地区民会議 合同）

10月18日の「十三夜」を控えた10月16日（土）、大泉総合会館の調理実習室において、「親子お団子作り教室」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数を3組6人に絞って募集したところ、受付開始から10分間で定員に達してしまいました。

当日は、感染症対策として換気、マスクの着用、そして手袋をしながらの作業となりました。どの親子も、講師の説明を聞いた後に、白玉粉を水で溶いた後に上粉を混ぜ、水を加えて、協力しながら団子を作りました。出来上がった団子で餡を包み、蒸して15個の団子ができあがりしました。家に帰って、自分たちで作った団子を味わいながら「十三夜」のことについて話をしてくれたことと思います。



【小中学生のための書初め教室】（青少年育成高根・大泉地区民会議 合同）

12月25日（土）に、高根町農村環境改善センターにおいて、「小中学生のための書初め教室」を実施しました。

当日は23人が参加し、2班に分かれて書初めに挑戦しました。講師の先生の指導のもと、途中で休憩をはさみながら2時間30分、それぞれが半紙と向かい合いました。最後には、参加者全員が、学校名と名前を書き入れ、そのまま提出できるような作品ができあがりました。



～北杜市青少年育成推進員～

各地区に、北杜市教育委員会より委嘱を受けた青少年育成推進員の方がいます。令和2年度～令和3年度は、76名の方が委嘱を受け、次の活動をしました。

- (1) 市内における青少年問題の実情を把握し、青少年関係機関等と連携しながら青少年の健全育成
- (2) 青少年のグループ活動の促進、有害環境の浄化、青少年の居場所作りの促進、週末活動・体験活動の促進、非行防止及びその他青少年健全育成活動の推進
- (3) 青少年育成推進員は、地区ごとに代表を置いて各推進員を取りまとめるとともに、市民会議への参画（活動例）・各青少年育成地区民会議が行う研修、会議等への参加
 - ・日常生活での見守り、安全安心の確認等（安全パトロール など）
 - ・青少年に関わる事業や活動などへの協力（体験教室、ボランティア活動 など）

市内8地区民会議・北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会の活動

【秋の自然観察教室】（青少年育成長坂地区民会議）

木々が色づき始めた10月2日（土）に「五感でふるさとの自然を感じよう」をテーマに初めて秋の自然観察教室を開催しました。講師はやまなしエコティーチャーの草野さん、ハケ岳南麓原生花保存会の杉浦さんです。

長坂町自然公園を散策しながら、大きな木の幹に聴診器を当てて鼓動を聞いたり、普段はあまり観察することのない昆虫のお腹を観察したり、長坂小学校体育館では、セロハンの台紙に拾ってきた葉っぱを貼り、太陽の光に当てて葉脈を観察しました。

この教室を通して自然界の仕組みの一端を知ることができ、これからはSDGsについて学びたいという感想もありました。



【こぶちさわハロウィン2021】（青少年育成小淵沢地区民会議）

10月23日（土）に小淵沢小学校体育館において、町民会議の時から続く伝統のこぶちさわハロウィンを行いました。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、参加者を例年の30名から10名へと減らしました。

前会長の仁科さんが育ててくださったハロウィン用のカボチャに思い思いの絵を描き、役員が見守るなか段ボールカッターでくり抜きランタンを作りました。その後雑巾がけ競争や上履き飛ばし等のゲームを行い、短時間ではありましたが、地域の大人と触れ合いながら楽しい時間を過ごしました。

来年度は以前のようにスパティオ小淵沢で、高校生のお兄さんやお姉さんたちと一緒にできることを願っています。



【白州子ども書き初め教室】（青少年育成白州地区民会議）

12月23日（木）に白州小学校において書き初め教室を行うことができました。講師は大泉在住の中島康堂先生と白州出身の清水栄子先生にお願いしました。毛筆を始めてまだ日が浅い3年生7名を清水先生、4年生から中学生までの16名を中島先生に指導していただきました。2時間あまりの練習時間でしたが、子どもたちは、それぞれ真剣に作品作りに取り組みました。両先生の丁寧でやる気を喚起する指導により、子どもたちは自分自身の前進を感じられる作品に仕上げることができました。本年度実施できた事業は夏の理科工作教室と今回の書き初め教室のみとなりましたが、子どもたちの満足そうな様子を見ると、普通に事業が実施できるように、コロナ禍も早く収まって欲しいと唯々願うばかりです。



【武川青少年育成防犯ボランティア】（青少年育成武川地区民会議）

武川青少年育成防犯ボランティア（通称青パト隊）は、平成24年に子どもたちの安全安心を確保することを目的に発足し、現在12名の隊員で構成されています。隊員は当番制で白州地区も含め、15時から18時くらいの小中学生の下校時にパトロールを実施しています。長時間のパトロールとなりますが、隊員はそこに意義を見出し、ある種の使命感的なものを抱きながらパトロールに励んでいます。北杜市は市を挙げてあいさつ・声かけ運動を推進しています。青色回転灯を見かけたら、手を振ったり声を掛けたりしてくれるよう、子どもたちにお話しいただければ幸いです。それは、必ず隊員たちの活動エネルギーにもなるに違いありません。



【北杜JL（ジュニア・リーダー）活動】（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会）

自主企画である「クリスマス会」は、市内の中学生を招待してJL活動を知ってもらう活動で、夏の「中学生宿泊研修事業」への協力とともにJL活動の一大イベントです。残念ながら新型コロナウイルス感染防止の観点から「中学生宿泊研修事業」は2年連続で、「クリスマス会」も昨年は中止となりましたが、今年は広い会場に変更し、飲食はせず、何とか実施することができました。

市内の中学生6人と現JL13人、SL3人の参加でしたが、JLは参加した中学生に来年度加入してもらえるように、気持ちを高めることも意識しながら、諸々の活動を展開していました。参加した中学生はすぐに打ち解けて楽しんでいたので、JLの活動に対して好印象を持ってくれたと思います。

